

畜産用プロバイオティクス

腸菌カ-M2

焼酎粕濃縮液を麹菌で強化した発酵飼料(エコフィード)

- ・ 腸内環境の改善と免疫力の向上
- ・ 飼料効果を高め 増体及び肉質の向上
- ・ 内臓廃棄率の軽減



① 麹菌が腸内環境を整える

- ・ 麹菌が乳酸菌の増殖を促進させ善玉菌を増す、さらに酵素の力で飼料を効率良く消化し腸の吸収を助け、糞の悪臭も軽減する

② 麹菌は大腸で短鎖脂肪酸を増加させ免疫力を高める

- ・ 飼料の繊維成分から麹菌がオリゴ糖を生産することで有用菌を増やし短鎖脂肪酸の生成を高める、さらに短鎖脂肪酸はエネルギーになると共に免疫抗体の生産を高める

③ 麹菌が成長促進物質を生成することで、増体効果がある

- ・ 成長促進物質(ブトキシブチルアルコール)による筋肉タンパク質分解の抑制、筋肉中の α トコフェロールを増加させる

④ 麹菌由来のビタミンEが多く含まれ肉質の向上効果がある

- ・ 麹菌が抗酸化物質を生成し筋肉中の過酸化脂質を減らしストレスを軽減すると共に、不飽和化酵素の活性を高め、飽和脂肪酸をオレイン酸などの不飽和脂肪酸に変える為、風味・栄養価が向上する

畜産の安全安心、品質向上へ貢献致します！

【製品】



製品サイズ ① 5kg ② 10kg ③ 20kg (※正味重量)

〈全てバックインBOXタイプ・蛇口取付式 ワンプッシュ容器1個付〉

【使用方法】

〈養牛〉

使用量：1頭当たり 10～15g/1日

使用期間：離乳後、育成から出荷までの通期での使用が基本ですが、肥育牛は生後1年前後の3ヶ月間(免疫力を高め丈夫な胃腸を作る時期)と出荷前3ヶ月間(増体及び内臓機能を整える時期)は非常に効果的です

与え方：製品を原液のまま与える方法と乳牛には水に溶かして飼料に散布する方法も有効です

〈養豚〉

使用量：飼料の0.1% (例：体重60kgの場合 飼料約2.6kg×0.1%＝2.6g×頭数)

使用期間：離乳後から出荷まで

与え方：飼料に混和するか、10～20倍の水に溶かし飼料に散布する

〈養鶏〉

使用量：肉用鶏・卵用鶏(成鶏)ともに飼料の0.1% (肉用鶏の場合週齢の給与量による)

使用期間：週齢4～5の育成期間より

与え方：飼料に混和するか、10～20倍の水に溶かし飼料に散布する

【使用上の注意】

- ① 未開封・開封にかかわらず、直射日光や温度の高い場所は避け、日陰の倉庫などで保管してください
- ② 開封後は早めに使いきることをお勧めします、もし開封後長期間使用しない場合などは、冷蔵庫など低温での保管をして下さい

【焼酎粕及び麹菌について】

焼酎粕と麹菌の畜産飼料としての効果効能は、これまで鹿児島大学及び東北大学での実証研究で、家畜の増体・不飽和脂肪酸の増加などが発表されており、特に『プトキシブチルアルコール』という焼酎粕・麹菌により生成される物質は、成長促進物質として上記の研究の中でも特に畜産動物の成長に有用とされる物質として注目されています、さらに麹菌が腸内で活動することで乳酸菌など善玉菌と言われる菌の増殖も助け腸内環境を改善し、飼料の分解と腸の吸収率を高め免疫力の向上と内臓廃棄率の軽減など相乗効果が期待できる発酵飼料です

(※焼酎粕は食品リサイクルにも貢献できるエコフィードです)

販売元  マルニゼオライトの
西日本産業株式会社
〒876-0045 大分県佐伯市上岡1237-1

フリーダイヤル 0120-545-541

西日本産業 佐伯

販売代理店